

様式 1

研究報告書（平成 28 年度）

提出者 知足章宏

提出年月日 2017 年 3 月 15 日

【本ユニットにおける研究テーマ】

和文 中国における環境汚染の政治経済的考察：環境 NGO の新たな取り組みと直面する課題

英文 The Political Economy of Environmental Pollution in China: Environmental NGO's Challenge

【研究のねらいと目的】（600 字程度）

中国では、大気汚染、水汚染など、住民の生活に深刻な影響を及ぼす環境汚染が各地で発生している。中央政府による環境対策が強化されたとしても、各地方における汚染企業と地方政府間の利害関係による政治経済的構造（汚染企業の地方経済への経済的貢献、税収、雇用など）が環境汚染の改善を阻むケースが依然として数多く存在する。このような各地における環境汚染をめぐる政治経済構造は、本来、汚染企業の過失や不法な行為を裁定する司法にまで及ぶため、行政・司法による環境汚染の改善は多くの地で達成されないままとなっている。なぜなら、違法な汚染行為を行う企業を容認する構造が根付き、監視・監督の機能不全が生じているからである。

これまでの先行研究では、上記の様な中国環境汚染の改善を阻む地方政治経済構造、及びグローバルな市場・多国籍企業、環境裁判をめぐる司法、政府による環境ガバナンスの問題が明らかにされてきた。一方で、近年の中国では、これらの環境問題をめぐる閉鎖的な政治経済構造を打破し、新たな環境ガバナンスを実現させようという取り組みが始まっている。その一つが、環境 NGO による環境ガバナンスへの参加である。

本研究は、情報公開を切り口として、政府機関及び汚染企業との協働、NGO・市民間の連携を目指す環境 NGO の取り組みを現地でのヒアリング・視察などによって明らかにし、その実態及び直面している課題を考察することを目的とする。事例研究として、北京市、湖南省長沙市、湖北省石首市における環境 NGO の取り組みを取り上げる。

【研究業績】学会報告・論文など

1. 学会報告

①知足章宏「中国における大気汚染と環境 NGO・環境ガバナンス：情報公開・対話の模索」日本環境学会第 42 回研究発表大会，東京都市大学横浜キャンパス，2016 年 6 月 19 日

②知足章宏「中国における大気汚染と環境 NGO：新たな環境ガバナンスへの挑戦」日本現代中国学会 2016 年度全国学術大会，企画セッション「環境政策における市民参加とガバナンス」慶

応義塾大学湘南藤沢キャンパス, 2016年10月30日(日)

## 2. 論文

Akihiro Chiashi (2017), Multi-tiered Nature of Environmental Pollution Problems and the Pollution Control Governance in China: the Role of Environmental NGOs, in Hideki Kitagawa ed. *Environmental Policy and Governance in China*, Springer.

## 3. 書評

知足章宏「何彦旻『中国の資源税』京都大学学術出版会, 2015年」, 『財政と公共政策』第38巻第1号, 財政学研究会, 2016年5月, pp.79-81

## 4. その他

知足章宏「中国の大気汚染はなぜなくならないのか」アカデミック・ジャーナル・ウェブサイト「シノドス」, 2016年5月12日掲載, <http://synodos.jp/international/17036>

知足章宏「PM2.5 大気汚染はなぜ根幹的解決に向かわないのか」『中国青空新聞』2016年8月, Vol.1, 公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)発行。

知足章宏「中国における鉱山開発と環境汚染: 湖南省現地視察報告」  
『中国青空新聞』2016年12月, Vol.3, 公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)発行。

**【成果の概要】** (800字程度)

本年度は、研究課題である「中国における環境汚染の政治経済的考察：環境 NGO の新たな取り組みと直面する課題」の研究に従事すると同時に、これまで数年間に渡って KUASU 研究員として取り組んできた研究成果を英語論文（出版書籍所収）、アカデミック・ジャーナル・ウェブサイト、NPO など様々な所で公表することができた。

論文では、Akihiro Chiashi “Multi-tiered Nature of Environmental Pollution Problems and the Pollution Control Governance in China: the Role of Environmental NGOs” in Hideki Kitagawa ed. *Environmental Policy and Governance in China* が Springer 社より出版予定(2017年3月31日)である。

本論文は、これまでの KUASU 研究員としての研究及び今年度の新たな研究課題の成果を一部反映したものであり、中国環境問題の政治経済的構造、環境ガバナンスにおける NGO の独創的な取り組みに焦点を当てている。特に、環境汚染をめぐるローカル・ナショナル・グローバルな政治経済構造、及びそのジレンマを打破するための環境 NGO の取り組みの意義と役割、実践について取りまとめた。

また、論文以外では、アカデミック・ジャーナル・ウェブサイト「シノドス」に、論説「中国の大気汚染はなぜなくなるのか」(2016年5月12日掲載)を公表した。さらに、研究・調査結果の一部が公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団）発行の『中国青空新聞』に掲載された。以上のように、今年度は、研究成果を多方面で公表することができた。

今年度の研究調査としては、2017年2月末から3月初めの期間に、湖北省石首市にて現地調査を行った。石首市では、環境汚染の改善に向けて企業と NGO が協働する取り組みがあり、その実態・課題についてヒアリング・視察を行った。この研究成果については、次年度以降の課題として取り組んでいきたい。

さらに、書評、学会報告2件（日本環境学会、現代中国学会）を行い、その他大学・NPO におけるゲスト講演なども行い、研究成果を多様な所で発表・議論することができた。

以上のように、2016年度 KUASU 研究員として様々な成果を挙げる事ができた。

**【通信欄】**